

# 使わない3Dとアイデアが出る1D

みなさん、ほめていますか？ ほめる達人 竹下幸喜です。

普段、何気なく使っている自分の言葉を意識した事がありますか？ また、周りの人がどんな言葉を使っているかを気にしたことがありますか？

私は「ほめ達」になって、周りの人の言葉が気になって気になって仕方がない時期がありました。今は気にならなくなりましたが、その言葉の中には、相手を笑顔にする言葉もあるし、自分が元気になる言葉もあります。ところが、言葉によっては相手を傷つける言葉もあるし、自分の力をうまく発揮できなくするような言葉もあります。マイナス言葉を使っている人を注意したい衝動にかられるのですが、他人を変えることはできません。変えられるのはいつも自分！ですから、私は、自分の言葉を変えていくように意識しました。その中で、特に使わないように気をつけた言葉があります。それは、「言葉の3D」を使わない。ということです。

「言葉の3D」とは何か・・・それは、「でも」「だって」「どうせ」です。

例えば、

「でもこの地域では・・・」「だってこの景気じゃ・・・」「どうせうちの会社小さいから・・・」という言葉。

「私は真剣にやっている。でもこの地域じゃ・・・。だってこの景気じゃ・・・。どうせこの小さい会社じゃ・・・。」この言葉は、すべての責任は私以外にあるという言い方です。私は一生懸命やってるけど〇〇が悪い！〇〇のせいでダメだ！と自分以外に責任を求めたら、そこから良いアイデアは浮かんでできません。

では、「ほめ達」がアイデアを出す時に使う「言葉の1D」があります。それは何か???それは「**だからこそ!**」です。

「この地域**だからこそ**やれる事がある!」

「この景気**だからこそ**できる事がある!」

「この小さい会社**だからこそ**挑戦できる事がある!」と「だからこそ!」を使う習慣を身に付けるとアイデアと勇気が湧いてきます。

「私だからこそ、言えることがあるよね!」「私だからこそ、やれることがあるよね!」と自分に問いかけていくと、脳は答えを出してくれます。この言葉を使っていくと、みなさんの周りが明るくなります。元気になります。笑顔が出てきます。みなさんも今日から「でも」「だって」「どうせ」を捨て、「だからこそ!」を意識して使ってみてください。自分と周りが輝き始めますよ。



## Profile

### 竹下 幸喜(たけした こうき)

1967年生まれ。

一般社団法人 日本ほめる達人協会特別認定講師

ほめる子育て研究所 所長 竹下幸喜

企業や子育てに「ほめて、認めて、励ます指導」を広げている。

ほめる子育て研究所HP ▶ <http://homeru-kosodate.net>

